

令和4年度 品川区教育会 理科部

1 理科部の運営の方針

- 品川区一貫教育カリキュラムに基づいた指導計画に沿った授業づくりを行う。
- 品川区内の小学校（前期課程）と中学校（後期課程）の連携を十分に図り合同で円滑に研究を進める。特に小中間では、部員同士が忌憚のない意見交換のできる雰囲気づくりに努める。
- ・一貫教育は、中学校の指導の在り方（教え込みなど）や小学校での基礎基本やスキルの未定着、6・7年生の接続時の問題点などを克服するなど、義務教育における授業改善を目的の一つとしている。授業をもとに、小中学校間で互いの指導法を参考にしたり新しい考えを紹介し合ったりしながら、一体感を得る重要な機会であることを認識したい。
- 理科における基礎基本の定着と求められる資質能力の育成を目指す。
- 授業研究に加え、品川区理科成果発表会の運営や教員対象の研修会の企画など、様々な活動や交流、情報交換等を積極的に行い、教員としての総合的な理科授業に関する資質能力を高める。

2 研究活動について（基本方針）

- ・部員は学年ごとの分科会に分かれ、分科会ごとに「タブレットを活用した対話的・主体的活動の実践報告」を行う。

3 研究の重点について

- 品川 GIGA スクール構想に基づき、一人一台タブレット端末を活用し、求められる授業を構築していく意欲と授業力を身に付ける必要がある。そのためには、
 - ①新学習指導要領に基づいた対話的・主体的な学習活動について理解し、授業づくりを行う。
 - ②より児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができるように、端末の活用方法を追究し、教員が授業の中で展開することができるようにする。
 - ③視点を明確にした研究協議を行う中で、活用方法の精査、発展し、さらなる有用性を図っていく。
 - ④理科部員だけにとどまらず、広く校内の教員に対して啓発できるようにするため、汎用性の高い実践可能な内容を取り扱う。

4 令和4年度 研究テーマ

「一人一台端末を活用した主体的・対話的で深い学びのある授業づくり」

5 研究の内容

- ・「品川区立学校理科発表会」については、昨年に続き研究発表、指導・講評を動画視聴方式で実施した。研究収録を Word で作成した研究の概要に代えて、One Drive で共有した。
- ・毎月の定例会については、次ページの通りである。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえながらオンラインを併用した研修を行ってきた。

令和4年度 品川区教育会理科部 活動の概要

回	月日（曜日）	内 容	講 師	会 場
1	4月20日 （水）	○全体会 部員・役員紹介 研究の進め方について		各勤務校での Zoomによる実施
2	5月11日 （水）	○講演会 「理科プロジェクトについて」 ○教材会社による 新教材の紹介 <分科会> ○タブレットを活用した実験・ 観察の方法の情報共有	品川区教育委員会 教育アドバイザー 山口晃弘先生 株式会社 内田洋行 株式会社 ナリカ	戸越台中学校
3	6月 1日 （水）	○模範授業 <分科会> ○タブレットを活用した実験・ 観察の方法の情報共有	品川区立八潮学園 教諭 木内誠二先生 品川区立富士見台中学校 指導教諭 坂内温実先生	八潮学園 富士見台中学校
4	7月 6日 （水）	○講演会 「1人1台端末を活用した、主体的・対話的 で深い学びのある授業づくり」 <分科会> ○タブレットを活用した実験・ 観察の方法の情報共有	文部科学省教科調査官 有村淳先生	戸越台中学校
5	9月 7日 （水）	○講演会 「1人1台端末を活用した、主 体的・対話的で深い学びのあ る授業づくり」 <分科会> ○タブレットを活用した実験・ 観察の方法の情報共有	聖心女子大学 益川弘如先生	各勤務校での Zoomによる実施
6	10月12日 （水）	<中学校・後期課程> ○研究授業 <小学校・前期課程> ○タブレットを活用した実験・ 観察の方法の情報共有		
7	11月 9日 （水）	○研究授業 <分科会> ○タブレットを活用した実験・ 観察の方法の情報共有		
8	12月 7日 （水）	○研究授業 <分科会> ○タブレットを活用した実験・ 観察の方法の情報共有		
9	1月11日 （水）	○2月の発表会に向けての 準備		
10	2月 8日 （水）	○教育会研究発表会 ・各分科会からの実践報告		